

沿線の魅力的な街づくりにチャレンジし 暮らしを支え続けてきた100余年

京王電気軌道開業 1913年～

鉄道とバスを走らせ 人々の往來を支える

京王線は新宿と八王子を結ぶ路線として計画され、1913年に笹塚～調布間が開業しました。

未開業区間の新宿～笹塚間などで、東京で最初のバスの営業も開始しました。1928年には新宿から東八王子まで電車が直通となり、1934年には渋谷～吉祥寺間が全線開業。当時まだ開発が進んでいなかった西東京エリアに鉄道とバスを走らせ、公共交通機関として人々の往來を支えました。

- 1910 京王電気軌道株式会社が発足
- 1913 笹塚～調布間の電車開通
- 1934 帝都電鉄株式会社により渋谷～吉祥寺が全通



東京で最初のバス営業



1914年当時の調布駅

京王帝都電鉄の時代 1948年～

事業を多角化し 沿線の街づくりを本格化

戦後、1948年に京王帝都電鉄が発足。戦後復興と高度経済成長期の中で、沿線の街づくりに着手。不動産、流通など事業の多角化も進めました。

1964年には「京王百貨店新宿店」が、1971年には当時の超高層ホテル第1号として「京王プラザホテル」がオープンしました。また、1986年には、推進していた聖蹟桜ヶ丘駅周辺総合開発において「京王聖蹟桜ヶ丘SC」がオープンするなど、魅力ある沿線づくりを進めました。

- 1964 京王百貨店新宿店がオープン
- 1971 京王プラザホテルがオープン
- 1986 京王聖蹟桜ヶ丘SCがオープン



1964年の京王百貨店新宿店



1971年の京王プラザホテル



1986年の京王聖蹟桜ヶ丘SC

鉄道事業と路線バス事業から始まり、沿線に魅力的な街をつくり、人々の暮らしを支えてきた100余年。「進取の気性」に代表される京王の精神は、歴史の中で脈々と継承されています。大きな社会の変革期にあっても、この「進取の気性」こそが、未来を切り拓く原動力となり、成長の礎になることは、京王グループの歴史が証明しています。

京王電鉄に社名変更 1998年～

幅広い世代に住みやすい街へ 豊かな暮らしづくり

1998年に社名を京王電鉄に変更。2001年に関東私鉄で初めて女性専用車を導入したほか、2012年には調布駅付近地下化切り替えを実施し、鉄道により分断されていた市街地の一体化を図りました。また、2002年には新規事業として、現在11店舗約2,800室で営業している京王プレッソインの1号店が、東銀座にオープンしました。

2002 京王プレッソイン1号店 東銀座店がオープン

2005 京王線で女性専用車を平日朝・夕の通勤時間帯へ拡大

2012 調布駅付近地下化切り替え工事完了



女性専用車を通勤時間帯へ拡大



調布駅付近地下化切り替え工事



京王プレッソイン東銀座
(第1号店)

成長の実現に向けて 2015年～

未来を見据え 企業価値のさらなる向上へ

2015年度からの6年間を3年ずつに区切り、前半3カ年において、戦略投資をはじめとした“成長に向けた土台作り”を進め、後半3カ年において、これまでにまいた種から成長の芽を育て、収穫するため、戦略投資案件の収益化および事業の選択と集中を推進しています。これからも事業環境の変化に対応し、持続的な成長と継続的な企業価値の向上にチャレンジしていきます。

2017 トリエ京王調布がオープン

2018 座席指定列車 京王ライナー運行開始

2019 京王プレミアホテル 札幌がオープン



トリエ京王調布



座席指定列車
京王ライナー運行開始



京王プレミアホテル 札幌